

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	柳井市立平郡東小学校	実施時間	学級活動（1・2年）
-----	------------	------	------------

1 ねらい

- ゲリラ豪雨が引き起こす危険について話し合うことを通して、自ら安全に行動できるよう危機意識や安全意識を高める。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに映し出したゲリラ豪雨時の被害写真や「防災教育テキスト」の表紙の写真がどのような場面か意見交換させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲリラ豪雨による被害写真や「防災教育テキスト」の表紙を提示し、被害の様子を読み取らせ、起こる危険を考えやすくする。</li> </ul> 
<p>おおあめからじぶんのみをまもるためには、どうしたらよいでしょう。</p>		
<p>2 ゲリラ豪雨の時、家の中にいたらどうなるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家ごと流される</li> <li>・家が土砂にうまる</li> <li>・命がなくなる</li> <li>・けがをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに映し出したゲリラ豪雨の被害状況のわかる写真や、「防災教育テキスト」5ページを参考に状況を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1の活動で使用したゲリラ豪雨の被害状況のわかる写真や「防災教育テキスト」を用意する。</li> <li>・土砂や大水が流れてきたら家が破壊されるだけでなく、そのことが人命を奪うことにつながることを新聞記事からも気付かせる。</li> </ul>
<p>3 自分が住んでいる所の危険について話し合う。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・山が崩れる</li> <li>・土砂が家に入る</li> <li>・水びたしになる</li> <li>・水が家に入る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの見方について説明する。</li> <li>・どんな危険が潜んでいるか考えさせる。</li> <li>・ハザードマップを使って、自分の家の危険を友達に説明させる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平郡東地区のハザードマップを用意し、自宅の位置や土砂災害危険地域などを確認させ、自分の家はどういう状況におかれているか、自分の家と災害の関係を読み取らせる。</li> <li>・友達同士で自分の家の危険について伝え合い、自分が気付かなかった危険に気付かせるようにする。</li> </ul>  
<p>4 大雨の災害から自分の身を守る方法を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育館に避難する</li> <li>・漁協に避難する</li> <li>・家の2階に移動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨が降ってきた時に命を守るために自分がとる行動を学習プリントに記入させた後、発表させる。</li> <li>・自分の避難場所を「防災教育テキスト」の7ページに記入させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の確認だけでなく、その経路についても考えることが必要であることを押さえる。</li> <li>・家族全員が避難場所や経路について共通認識しておくことが大切であることを伝え、それを実践させる。</li> </ul>